

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス遊学館境教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月29日		～ 令和6年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和6年11月29日		～ 令和6年12月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月16日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出イベント等により体験や経験を積む機会が多く、経験値を増やすことができる。 また、身体を動かす活動も多く、体力向上やストレス発散、集中力向上につながる活動が多い。	外出活動を通して、公共の場でのルールを学び、社会性を身に着ける。	高校の卒業を見据えた支援の中で、就労施設の見学や生活介護施設の見学を行って行きたい。 また、色々な体験等から、利用児童の一人ひとりの好きな事やできる事を把握し、エンパワーメントを強化できる活動を増やしていく。
2	課題の時間にはパソコンやタブレットを使用した個別課題を行っており、卒業後を見据えた課題の提供と、一人ひとりに応じた課題の提供を行っている。	課題の時間には集中して取り組めるよう、部屋を分けるなどして対応している。	仕切りなどを活用し、個別に対応できるように環境整備を行っていく。
3	指導員と利用児童の関係が良好であり、利用者の気持ちや意見を聞き、活動に反映させている。 また、保護者とも良好な関係が築けるよう意識しながら対応しているため、情報を共有しながら支援を行っている。	利用児童が気持ちを伝えやすいような環境づくりを意識しています。 また、日々の活動の様子等を連絡帳や送迎時の際に保護者にお伝えしています。	人間関係やコミュニケーション、言葉の幅を広げ社会性を身に着けられる時間を増やしていきたい。 定期的な面談等の他に、教室での活動の様子を見てもらえる様な公開日などを設けたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の人員が多く配置できないため、個々のニーズに対応する事が難しい場合がある。 また、男性職員が少ないため、状態に応じた支援の対応の難しさを感じる場面がある。	職員の増員。	同じ方向性で、こども達を支援してくれる方の雇用。
2	専門職員(作業、言語、理学療法士)がいない。	外部への依頼。	必要に応じた検討。
3	地域交流が計れていない。 外部(ボランティア等)の関りが無い。	地域のイベント情報の収集。 また、ボランティア等の受け入れ、外部講師等への依頼。	必要に応じた検討。